

—— 会 告 ——

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会開催について

学 会 長 小 堺 加智夫

大 会 長 山 田 正 人

実行委員長 宮 崎 吉 春

会員各位

第 23 回日本核医学技術学会学術大会は、石川県金沢市の金沢市文化ホールにて下記のとおり開催致します。

メインテーマを「医療を生き抜く優しい核医学技術」と題して、21 世紀の医療に貢献できる核医学技術とは何か？をディスカッションできればと、種々の内容を企画し、準備を進めております。また、インターネットによる演題登録や一般演題でのパソコン発表を実施致します。多数の演題申し込みとご参加をお願い申し上げます。

記

1 . 会 期：平成 15 年 7 月 26 日（土）、27 日（日）

2 . 会 場：金沢市文化ホール

石川県金沢市高岡町 15 番 1 号 TEL：076-223-1221

（<http://www.nsknet.or.jp/heartkcb/search/07main.htm>）

3 . 参加登録費：5,000 円

4 . 懇 親 会：

1) 会 場 金沢市文化ホール

2) 会 費 6,000 円

5 . 演題申込み締切日：

平成 15 年 4 月 1 日（火）必着（郵送の場合）

< インターネットによる演題登録方法 >

・ 学会ホームページ（<http://www.mmjp.or.jp/J-SNMT/>）からリンクしております。

・ 演題登録開始日時 平成 15 年 1 月 31 日（正午）

・ 演題登録締切日時 平成 15 年 4 月 1 日（正午）

< インターネットによる演題登録の注意事項 >

・ 登録可能文字数は、演題名・所属・氏名・予稿本文を入れて、1 行 44 文字×15 行で 660 文字以内です。この字数を超えますと登録できませんので注意して下さい。

・ 文字計算は日本語全角 1 文字を 1 文字とします。英数字半角文字 2 文字を日本語全角

文字 1 文字に換算します。

- ・ 演題登録の際に使用可能なタグは、上付文字(例：^{99m})、下付文字(例：₄)のみです。なお、それ以外のタグ、改行
・太文字・イタリック<I>・アンダーライン<U>は使用不可です。
- ・ 演題登録後、受理確認メールが届きますので、電子メールアドレス記入欄に入力間違いがないか再度確認して下さい。なお、受理確認メールはテキスト形式になりますので上付および下付文字は反映されず、タグ(例：^{99m})がそのまま表示されます。
- ・ 演題登録後 1 日経過しても受理確認メールが届かない場合は、実行委員会事務局(ribu2@med.kanazawa-u.ac.jp)までメールにてお問い合わせ下さい。
- ・ 演題の採択の是非に関しては、後日メールにてお知らせいたします。
- ・ 登録内容の参照・修正は、演題登録番号とパスワードを用いることにより登録期間中であれば可能です。なお、パスワードを忘れた場合の問い合わせには、システム上お答え出来ませんので、必ず演題登録番号と併せて控えておいて下さい。
- ・ 詳細は、学会ホームページ上の注意事項をご参照下さい。

6. 宿泊に関する問い合わせ：

「第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会」係

日本旅行金沢支店 〒920-0005 石川県金沢市高柳町 9-1-1 JR 西日本金沢支社ビル 1 階

TEL：076-253-5252 FAX：076-253-5253 担当：小川

プログラムの内容

- | | | |
|---|--------------------------------------|-------|
| 1. 海外招待講演 | 司会 金沢大学医学部 | 小野口昌久 |
| 「Present status of hybrid PET/CT systems in the US and role of nuclear medicine technologist
(米国の PET-CT の現状と技師の役割)」 | | |
| | SNMT 会長 Frances K. Keech, RT(N), MBA | |
| 2. 文化講演 | 司会 公立能登総合病院 | 宮崎吉春 |
| 「日本一への道のりとその責任」 | | |
| | 和倉温泉加賀屋 | 小田禎彦 |
| 3. 特別講演 | 司会 金沢大学医学部附属病院 | 山田正人 |
| 「核医学診療・新世紀の展開」 | | |
| | 金沢大学大学院医学系研究科 | 利波紀久 |
| 4. 特別講演 | 司会 金沢医科大学病院 | 掛下一雄 |
| 「クリニカルパス、医療の IT 化は病院に何をもたらすか？」 | | |
| | 福井赤十字病院 | 野口正人 |
| 5. パネルディスカッション | 司会 金沢大学医学部附属病院 | 津川浩一郎 |
| | 福井県立病院 | 西出裕子 |
| 「乳がんにおける放射線診療の現状と展望 - 治療に役立つ連携とは - 」 | | |
| 基調講演 | 金沢大学医学部附属病院 | 津川浩一郎 |

マンモグラフィー	浜松医科大学附属病院	井美恵美子
MRI	石川県立中央病院	大家伸介
RI	大阪市立大学医学部附属病院	對間博之
6．卒後教育プログラム		
1) 基礎講座 「PET の基礎」	司会 国立がんセンター東病院	福喜多博義
2) 基礎講座 「SPECT の定量評価のキーポイント - 脳に関して - 」	国立循環器病センター 司会 日本メジフィジックス	岡 尚嗣 仁井田秀治
3) 基礎講座 「核医学領域の安全管理 - 核医学診断装置の安全性の保守点検について - 」	旭川赤十字病院 司会 福井医科大学医学部附属病院	増田安彦 松下照雄
4) 基礎講座 「RI 管理技術 - 空間線量測定の実際 - 」	東京慈恵会医科大学附属柏病院 司会 磐田市立総合病院	平瀬 清 山田鎌太郎
7．シンポジウム	千代田テクノル 座長 福井医科大学高エネルギー医学研究センター 福井医科大学医学部附属病院	寺中朋文 米倉義晴 杉本勝也
「クリニカル PET に期待するもの」 基調講演		
1) 各種画像診断法の連携について（放射線科医の立場から）	福井医科大学高エネルギー医学研究センター 大雄会第一病院	米倉義晴 伊藤 哲
2) PET 装置の現状と将来（専用機とハイブリッド機）	秋田県立脳血管研究センター	庄司安明
3) PET 診療における施設基準について	福井医科大学医学部附属病院	杉本勝也
4) PET の展望とその経営性	日本メジフィジックス	山内博彦
8．よろず相談コーナー 脳血流定量法に関する色々な疑問をエキスパートの方から答えて頂くコーナーです。		
9．展示コーナー		
10．ランチョンセミナー（協賛：日本メジフィジックス，第一ラジオアイソトープ）		
1) ランチョンセミナー 「ここがみたい！臨床医が望むシンチグラフィ - Ga シンチの再検討 - 」	司会 富山医科薬科大学医学部附属病院 大阪市立大学大学院医学研究科	利波修一 河邊譲治
2) ランチョンセミナー 「脳血流画像における Fusion イメージの実際」	司会 富山市民病院 大阪医科大学附属病院	大野雅司 林 万寿夫

第 23 回日本核医学技術学会総会学術大会プログラム委員会

委員長：山田正人（金沢大学医学部附属病院）

副委員長：宮崎吉春（公立能登総合病院）

”：若松敬一郎（福井赤十字病院）

委員：余西 優（福井県済生会病院）

”：小野口昌久（金沢大学医学部）

”：飛坂 実（金沢大学医学部附属病院）

”：利波修一（富山医科薬科大学附属病院）

”：小野幸一（福井県立病院）